

### Step 1 消毒液の作り方

消毒用エタノールがあれば、それを使用してください。

消毒用エタノールがない場合は、市販の家庭用漂白剤等を水で薄めて消毒液を作ることができます。消毒液は、次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.05%になるように薄めて作ります。作業は、風通しの良い場所で行いましょう。

以下は、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする製品の例です。

商品によっては濃度が異なりますので、以下を参考に水で薄めてください。

使用時は、必ず換気をしてください

他の薬品と混ぜてはいけません。

商品パッケージやHPの説明をご確認ください。

**<注意事項>**

- ※塩素に過敏な方は使用を控えてください。
- ※目に入ったり、皮膚についたりしないよう注意してください。
- ※飲み込んだり、吸い込んだりしないよう注意してください。
- ※酸性のものと混ぜると塩素ガスが発生して危険です。



メーカー	商品名	原液量	水の量
花王	ハイター キッチンハイター	商品キャップ2杯 (50ml)	2Lのペットボトルを水で一杯にします。 ※原液を足す前に、水洗いをしておきます。
カネヨ石鹸	カネヨブリーチ カネヨキッチンブリーチ	商品キャップ1杯 (20ml)	
ミツエイ	ブリーチ キッチンブリーチ		

### Step 3 消毒をしましょう

テーブル、ドアノブなどには、市販の塩素系漂白剤の主成分である「次亜塩素酸ナトリウム」が有効です。「次亜塩素酸」の酸化作用などにより、新型コロナウイルスを破壊し、無毒化します。

次の図のように、**人が触る可能性が高い部分を重点的に拭いていきましょう。**

消毒する際は、天井から床に向かってかうように、上から下に拭いていきます。また、テーブルなどを拭く際には、奥から手前に向かって拭きます。これは、既に消毒した場所を再度拭かないようにするためです。

食器や箸などは、熱水でウイルスを死滅させることができます。消毒の対象とする食器類を、80℃の熱水に10分間さらしてください。やけどに注意しましょう。

**窓の取手**

窓の取手を消毒した後、換気のため窓を開けます

**居間・台所**

ドアノブ、照明スイッチ、テーブル、椅子、電話、家電等のスイッチ

**洗面所・お風呂場**

蛇口、シャワーヘッド、洗面器、バスチェア、お風呂場の浴槽、排水溝

**出入口等**

ドアノブ、階段の手すり

**トイレ**

水洗便器、流水レバー、便座、蓋

### Step 2 消毒の準備をする

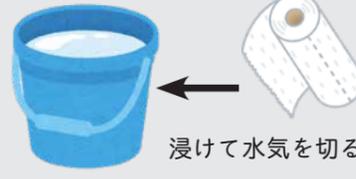


- ① 手袋とマスクをします  
※汚れても良い服を上1枚着ておくにとさらに安心です
- ② ごみを入れるポリ袋を広げておきます
- ③ キッチンペーパーに消毒液を染み込ませます

「消毒用エタノール」の場合  
⇒キッチンペーパーがしっかりと濡れるように噴霧します



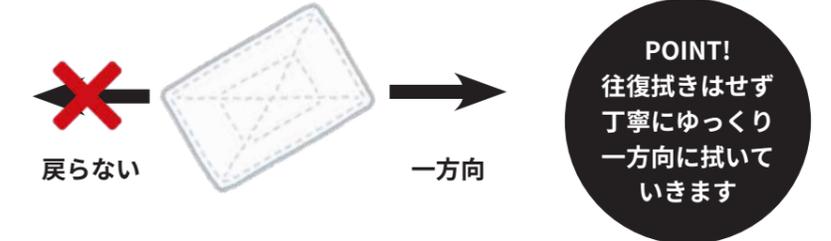
手作り消毒液の場合  
⇒まず手作りした消毒薬をバケツに移します。次にキッチンペーパーを消毒薬に浸けて、軽く水気を切ります。



**★換気はこまめに行いましょう**  
新型コロナウイルス等の微粒子を室外に排出するためには、こまめに換気を行い、部屋の空気を入れ換えることが必要です。室内温度が大きく上がらない又は下がらないよう注意しながら、定期的な換気を行いましょう。窓を使った換気を行う場合、風の流れができるよう、2方向の窓を、1時間に2回以上、数分間程度、全開にしましょう。

### 消毒時の注意事項

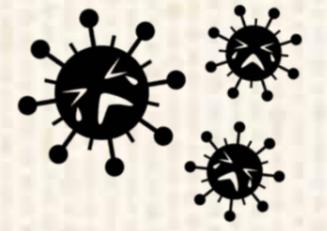
- ①手や指が触れる場所や物を特に意識して、しっかりと拭いていきます



- ②拭き終わったキッチンペーパーは順次ポリ袋に入れていきます
- ③作業が終わったら、手袋もポリ袋に入れ、しっかり封をしてから蓋付きのゴミ箱に入れます



- ④ハイター等の消毒液を使った場合は最後に軽く水拭きします  
※水拭きしないと、変色や金属のさびの原因になる場合があります



正しい消毒方法で  
感染を予防しましょう



新型コロナウイルスへの感染は、ウイルスを含む飛沫が口、鼻や眼などの粘膜に触れること、または、ウイルスがついた手指で口、鼻や眼の粘膜に触れることで起こります。手指のウイルスは洗い流すことはもちろん、身の回りのモノを消毒することで、手指につくウイルスを減らすことが期待できます。今回は消毒液の作り方や消毒時の注意事項をお伝えします。